

【報告事項】多治見市内の空家の状況について

令和 3 年度における多治見市内に存する空家の現状について報告する。

1. 市内の空家の状況

(1) 全体数

①令和 2 年国勢調査の調査区要図による空家件数 3,261 件

②平成 30 年度住宅土地統計調査による空家のうち別荘、売却・賃貸用を除く件数 4,470 件

(平成 30 年度住宅土地統計調査による全空家件数 6,740 件)

【調査手法の比較】

①市内全戸を調査対象としており、実態に近い数値である。

ただし、居住者がいないことのみを条件とし建築物数を計上しているため、住宅以外の建築物も極一部含まれている（地図データから、住宅でないことが明確な建築物は除いている）。

②市内の一部地域を抽出して空家（住宅のみ）の調査を行い、その調査で得た空家の割合を市全体の建築物数に乗算し得た数値であるため、実態に対し一定程度誤差が生じる。

(2) 地区ごとの空家の頒布

国勢調査により把握した空家の小学校区ごとの件数は以下の通り。

来年度実施の都市計画基礎調査で市全体の建築物数の調査を予定しており、その結果から空家率も算出する予定。

小学校区	空家数 (件)	小学校区	空家数 (件)
1. 養正校区	446	7. 根本・北栄校区	338
2. 昭和校区	420	8. 滝呂校区	228
3. 精華校区	303	9. 市之倉校区	316
4. 共栄校区	221	10. 南姫校区	142
5. 池田校区	167	11. 脇之島校区	99
6. 小泉校区	287	12. 笠原校区	294

2. 今後、注意が必要な空家等の件数（令和 4 年 3 月 1 日時点）

前年度からの継続件数	R 3 年度通報件数	R 3 年度改善等完了件数	要対応件数
128 件	19 件	14 件	133 件

* 令和 3 年度に現地調査や改善を促す所有者宛通知等対応した件数 81 件（新規 19 件、継続 62 件）

3. 現時点の懸案空家等（建物の現況写真は別紙1参照）

（全7件、個人に関する情報のため非公開）

4. 令和3年度空き家除却工事補助金実績

（1）老朽空き家除却工事補助金

補助対象：昭和56年5月以前に建築された空家

補助上限額：20万円

実績件数：20件（予算額が満額となったため終了）

（2）危険空き家除却工事補助金

補助対象：特定空家等、不良住宅、又はそれらに準ずる状態の空家（市職員の現地調査で判断）

補助上限額：40万円

実績件数：3件（予算額が満額となったため終了）